3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

令和３年５月
ＮＯ．１４２

自衛官候補生課程 戦闘訓練
～自衛官の基礎を学ぶ～

表紙写真：自衛官候補生 課程 戦闘訓練 （第３６普通科連隊）

各種行事・訓練

師団創立６０周年記念行事
中部方面総監今津駐屯地視察
方面・師団統制演習場春季整備
自衛官候補生課程教育

第３師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人 NEW
師団戦士
我が部隊の新戦力
社会の一員として

みんなの架け橋

京都地方協力本部

職場の豆知識

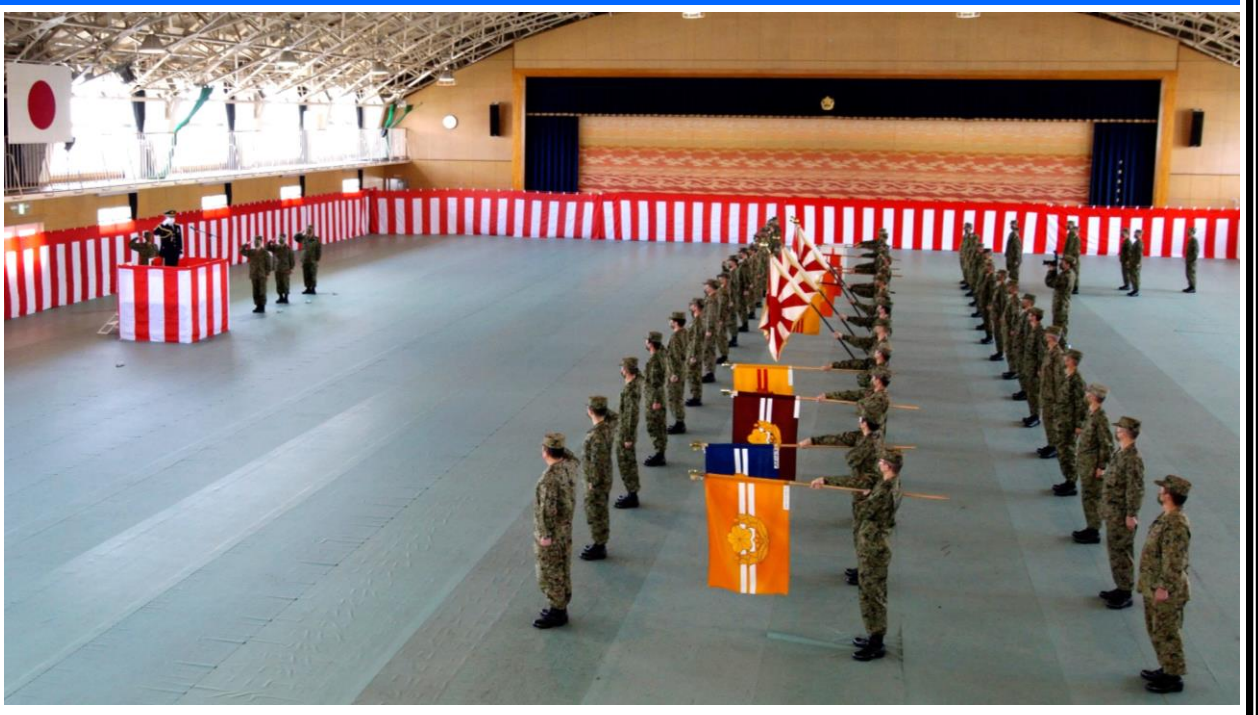
組み合わせ

60年に感謝　想いを未来へ！！

師団長訓示

訓示を受ける部隊長

一斉放送により訓示を受ける隊員



師団創立６０周年記念行事

師団（師団長　山根陸将）は、令和３年５月14日（金）、千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）において、師団創立60周年記念行事を挙行した。

本来ならば「60年に感謝　想いを未来へ!!」をテーマに、日頃お世話になっている地域の皆様を駐屯地に招待して開催する予定であったが、緊急事態宣言の発令に伴い、昨年に引き続き一般公開を中止した。このため、記念行事は、師団隷下各部隊長及び最先任上級曹長の参列のもと、師団長訓示のみ実施して、各隊員に対して一斉放送によって訓示内容を徹底した。

師団長は、「60周年という節目を盛大に祝う予定であったが、コロナ禍という世界の非常事態に際し、大幅に行事を縮小した。このような事態が早期に収束することを心から願う」と述べた上で、「厳しさを増す情勢にいつ、いかなる時も的確に対応するため、これからも実力を備えていなければならない。全隊員が日々精進することを期待する」と訓示した。

師団は、これまで築き上げた伝統を守りつつ、更なる飛躍を誓う。

中部方面総監今津駐屯地視察

自衛官候補生課程教育視察（武器訓練）

総監に対する状況報告

今津駐屯地は、令和３年４月21日（水）、中部方面総監（野澤陸将）の視察を受けた。

総監は、儀じょう、幹部挨拶及び状況報告を受けた後、駐屯地に所在する各部隊及び自衛官候補生課程教育隊を視察し、隊務運営状況を確認した。

また、戦車試乗においては、女性自衛官として初めて戦車中隊に配置された第３戦車大隊第１中隊所属の村上士長が74式戦車を操縦した。操縦を終えた村上士長は「総監乗車時の操縦はとても緊張しました。引き続き、操縦練成を頑張ります」と語った。

戦車試乗（左：総監　右：戦車大隊長）

隊員自ら訓練環境を整備

師団は、令和３年４月15日（木）から28日（水）までの間、あいば野演習場（滋賀県）、青野ヶ原演習場（兵庫県）、長田野演習場（京都府）、信太山演習場（大阪府）及び長尾山演習場（兵庫県）において、方面・師団統制演習場春季整備を実施した。

本演習場整備は、訓練基盤の維持・拡充を図り長期安定使用に寄与するとともに、実際的訓練環境の構築を図ることを目的に実施した。

編成完結式において整備隊長（師団長　山根陸将）は、人員約２０００名、車両等約５６０両で編成された整備隊に対し「自分たちで演習場を作り直すとの気概を持て」「部隊の能力向上のため本演習場整備の場を大いに活用せよ」「安全を確保せよ」の３点を要望した。

各部隊は、日頃の訓練で使用している演習場の道路・射撃場等の整備を「機能維持」「機能回復」「機能向上」の３つの区分で行い、効率的かつ実際的な訓練を実施するための基盤整えた。

本整備に初めて参加した第36普通科連隊本部管理中隊所属の菅野士長は「担当した射座の修復では、機能回復した射座を見て、達成感を感じました」と述べた一方で「樹木等が伐採され、見通しの良い演習場になりましたので、情報小隊の斥候手としては、敵に発見されないよう隠密行動の練度を向上させたい」と抱負を語った。

編成完結式　師団長訓示
（あいば野演習場）

三角点標の新設
（あいば野演習場）

ドーザーによる抜根作業
（あいば野演習場）

射撃場（射座）の修復
（あいば野演習場）

若松の除去
（信太山演習場）

道路整備
（長田野演習場）

安全表示の補修
（青野ヶ原演習場）

激励演奏
（あいば野演習場）

整備隊による機材整備
（青野ヶ原演習場）

小型ドーザによる溜め桝の土砂除去
（長尾山演習場）

営内生活にも慣れ、同期と共に訓練奮闘中

令和３年４月から、第７普通科連隊（連隊長　小野田１佐）、第36普通科連隊（連隊長　伊藤１佐）、第37普通科連隊（連隊長　東１佐）、第３特科隊（隊長　小松１佐）及び第３戦車大隊（大隊長　足立２佐）の５コ部隊が自衛官候補生課程教育を担任・実施中である。自衛官候補生課程は、基本教練、武器訓練、実弾射撃訓練及び徒歩行進訓練等、約３ヶ月にわたる各種訓練を通じて自衛官としての基礎を学ぶもので、約３４０名の自衛官候補生が２等陸士への任官を目指して日々訓練に邁進している。

入隊から約２ヶ月が経過して、第37普通科連隊所属の岡自衛官候補生は「自衛隊で新しい知識・技術を学ぶことにより自分の成長が実感でき、同期とともに訓練を乗り越えることに、充実感を感じています」と語った。

実弾射撃訓練（第７普通科連隊）

徒歩行進訓練
（第３特科隊）

特殊武器防護訓練（ガス体験）
（第３７普通科連隊）

戦闘訓練
（第３６普通科連隊）

戦闘訓練を終えて
（第３６普通科連隊）

歩哨訓練
（第７普通科連隊）

武器訓練（分解結合）
（第３戦車大隊）

武器訓練練度判定を終えて
（第３戦車大隊）

戦闘靴の手入れ
（第３特科隊）

ベットメイキング
（第３７普通科連隊）

NEW

近畿の守り人

～災害派遣を通し変わった人生～

２０１６年４月14日と16日の２度にわたって最大震度７の揺れに見舞われた熊本地震が発生。地震発災を受け、第３師団から多くの隊員が熊本に駆け付け、人命救助、生活支援の任務を遂行した。あれから５年。当時の災害派遣活動に参加した隊員から話を聞きました。

第３通信大隊第２中隊の遠藤伸司（えんどう　しんじ）３曹は、２０１１年に自衛隊による東日本大震災での災害派遣活動をテレビで見たことをきっかけとして、「人を助けたい。困っている人の役に立ちたい」と決意し、その翌年に自衛隊に入隊。入隊して４年が経った頃に熊本地震が発生し、入隊前に思い描いた気持ちを胸に給水支援隊の一員として熊本へと向かった。

災害派遣現場は、倒壊した建物や亀裂の入った道路がいたる所にあり、被害の大きさを肌で感じ、少しでも被災者の方に元気を取り戻してもらえるようにと必死で任務にあたった。

遠藤３曹は、「給水活動をする中で被災者から直接『ありがとう』という言葉をもらったことが私の人生を大きく変えました。当時は自衛隊以外の職にも魅力を感じ、任期満了退職しようとも考えていましたが、この『ありがとう』をきっかけに自衛官を生涯の職にするという志が強くなり、必死で試験勉強に励みました」と当時を振り返った。

現在、陸曹となり、搬送通信手として活躍中の遠藤３曹。災害派遣の経験を後輩に伝え、いつ起こるかわからない災害に対応できるよう後輩育成にも積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。

遠藤３曹

師団戦士

「陸曹としての責任感」

第3後方支援連隊第2整備大隊
第1普通科直接支援中隊
3等陸曹　元木　達也

今回は、第３後方支援連隊第２整備大隊第１普通科直接支援中隊に所属する元木　達也（もとき　たつや）３曹へのインタビューです。元木３曹は、火器整備班陸曹として勤務するとともに、持続走指導陸曹として隊員の体力向上・後輩育成に努めています。

Q　出身地、陸曹候補生課程入校年度は。

A　愛媛県出身、第１３５期、平成31年４月入校です。

Q　合格通知を受けた時の心境は。

A　これまでご指導頂いた先輩方の恩に報いる事ができて嬉しく思いました。

Q　入校間、印象に残る訓練は。

A　防御戦闘訓練です。分隊長として初めて隊員を指揮した訓練です。

Q　特に学んだことは。

A　企図の徹底です。小部隊の指揮官として己の企図を末端の組員まで明確に認識させることは任務達成のために、とても重要だと感じました。

Q　陸曹になっての心境の変化は。

A　陸曹としての責任感が生まれ、若年隊員の見本となる様な行動を心掛けるようになりました。

Q　今後の部隊での目標を教えて下さい。

A　整備技術の向上です。

Q　陸曹を目指す後輩隊員に一言

A　俺を見よ・俺に続け

我が部隊の新戦力

「期待の新人」

第36普通科連隊第3中隊
1等陸士　西口　日名太

今回は、第36普通科連隊第３中隊に所属する西口　日名太（にしぐち　ひなた）１士へのインタビューです。

Q　出身地、入隊年度は。

A　大阪府箕面市出身、令和２年４月に入隊しました。

Q　入隊の動機は。

A　国際貢献、災害派遣等で人を助ける存在に憧れ入隊を決意しました。

Q　新隊員教育の区隊・班は。

A　前期教育は信太山37連隊１区隊２班で、後期教育は伊丹36連隊２区隊５班です。

Q　新隊員教育での思い出は。

A　毎日の生活の中で、友情・驚き・涙があり、教育期間中は人生で一番充実した半年でした。

Q　自衛官としてのやりがいは。

A　いざという時のために備え、人の役に立てるところです。

Q　苦労していることは。

A　尊敬されるような言動ができる先輩像とは何かと、毎日試行錯誤しています。

Q　尊敬（目指している）先輩は。

A　対戦車小隊の先輩方です。

Q　営内での生活はどうですか。

A　毎日、充実しています。

Q　今後の目標を教えて下さい。

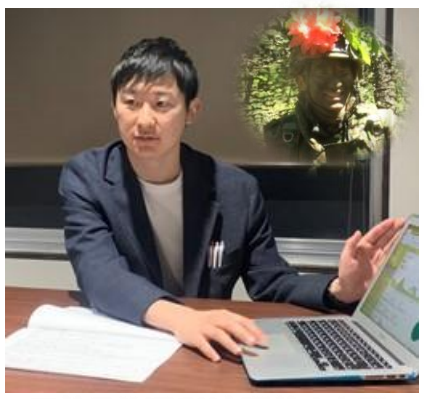
A　初級ＡＴＭ特技を取得したので、弾薬手として中隊に貢献したいです。

Q　最後に一言

A　まだまだ未熟な隊員ですが、立派な自衛官として成長していきたいと思っています。引き続きご指導お願いします。

社会の一員として

「責任感・チームワークの大切さ」



元第7普通科連隊第1中隊
牧野　航平　さん

今回は、第７普通科連隊第１中隊に所属していた牧野　航平（まきの　こうへい）さんへのインタビューです。牧野さんは、迫撃砲砲手として活躍され、現在は、株式会社１ａｂｏで勤務、ホームページ製作をされています。

Q　在隊時期を教えて下さい。

A　平成28年３月から約２年勤務しました。

Q　自衛隊在隊間印象に残っていることは。

A　日常の訓練や演習です。訓練や演習を通して協調性や助け合いなど多くの事を学びました。

Q　自衛隊経験で役立っていることは。

A　責任感とチームワークです。一つの仕事をするにしても一人だけではできません。特に、チームワークの大切さを学ぶことができました。

Q　現在の職場について教えて下さい。

A　お客様と製作チームが一丸となってホームページを作り上げる会社です。

Q　現職業のやりがいを教えて下さい。

A　お客様との信頼・繋がりを大切にし、満足したという評価をお客様から頂いた時にやりがいを感じます。

Q　現役隊員に向け一言お願いします。

A　自衛隊を任期満了退職し、約２年半が立ちました。私も新しい職場において、自衛隊で学んだ責任感とチームワークを大切に頑張っています。共に頑張りましょう。

コロナ禍に負けない！！
～京都地本のアイディアの紹介～

コロナ禍の影響により、入隊式を見られない入隊者の家族にライブ中継による配信を京都地本募集課が企画し実現

京都地本入隊者の家族からも大好評！！

今後も、「コロナ禍に負けない！！」

京都地方協力本部

2府4県 みんなの架け橋

近畿２府４県に所在する各自衛隊地方協力本部からの情報発信コーナー

第３師団の皆さん、自衛隊京都地方協力本部です。

京都地方協力本部には、第７普通科連隊、第３施設大隊、第３特科隊等、第３師団出身の隊員が多く勤務しています。

今回は広報官として、募集の第一線で任務を遂行する第３師団出身の二人を紹介します。

広報官への質問
① 原　隊
② 広報官のやりがい
③ ３師団の隊員達にメッセージ

内山　友宣　２等陸曹（河原町募集案内所）

入隊者との記念撮影（右：内山２曹）

① 第３施設大隊

② 入隊希望者が、入隊後楽しく部隊で勤務していることを入隊者のご家族からお聞きし、お礼を言われた時

③ 広報官の仕事は緊張感がある反面やりがいも多くあります。是非、京都地本で一緒に勤務しましょう。

永野　竜樹　２等陸曹（福知山地域事務所）

① 第７普通科連隊

② 入隊希望者が着隊して自衛官になった姿を見た時

③ 一生懸命入隊希望者の方をサポートします。これからも、京都地本への協力・連携をお願いします。

【地本HP】　【Twitter】　【Facebook】　【Instagram】

【お問い合わせ】　京都地方協力本部広報室　内線８－７２３－５２１

職場のマメ知識

「組み合わせ」

今年も梅雨がやって参りました。近畿地方は例年より20日程度早い梅雨入りとなったようで「観測史上最速」なんだとか。

先日、紫陽花（あじさい）の開花と、そのそばで佇むカタツムリを確認し、梅雨らしいカップリングに、少しほっこりしてしまいました。

今回は、癒しを求めて、このような組み合わせは他にないものかと、調べてみました。中には古くから親しまれ、エピソードやこぼれ話に「なるほど」と思ったものが色々あったので、今回はその中からいくつかを紹介していきたいと思います。

○獅子に牡丹…定番の図柄で、百獣の王である獅子（ライオン又はそれをモチーフとした想像上の動物）と、花の王と呼ばれる牡丹との絢爛豪華な組み合わせです。体毛に寄生する害虫が獅子の唯一の弱点といわれていますが、牡丹の花から滴る夜露を浴びることで浄化できるため、獅子は牡丹の下で安息を得るという伝説があり、獅子の安住の地ということでも、良い組み合わせとして古くから親しまれているのかもしれません。

○紅葉に鹿…花札の10月の札でも知られる構図です。俗に鹿肉のことを「モミジ」と言いますが、この花札の図柄にその由来があるようです。（諸説あります。）この「モミジ」という名称は、獣肉食がタブー視されていた江戸時代に、鹿肉を示す隠語として使用されていたと言われています。

また、この札に描かれているシカは、そっぽを向いているように見えます。無視をすることを「シカトする」と言ったりもしますが、これも「シカ」「10月（ト）」が語源となっているようです。

○月と兎…お月見で、ススキや団子と一緒に描かれる姿が定番ではないでしょうか。月の黒い模様の部分がモチをついている兎に見えるといわれており、月に兎が住んでいるという伝承の起こりではないかと思います。

しかし、この月の模様は、国や地域によって「カニ」「犬」「ワニ」「本を読むおばあさん」等、見え方は様々あるようで、それぞれに異なる伝承があるのかもしれません。

いかがでしょうか。もちろん、特別なエピソードとまでは言えないものもありますが、この組み合わせならではといった発見もありました。

少し前にペンとパイナップルとアップルの組み合わせた歌が、世界的なヒットを生んだ事例もあり、まだまだ未知のコラボレーションが、すぐそこに眠っているかもしれませんね。

第３師団ホームページでは、過去の３師団だよりや、開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！

ツイッター、フェイスブックも更新しているので、是非遊びに来てくださいね！

ホームページ　Twitter　facebook